

鐵と鋼 第五年第十一號 大正八年十一月

目次

支那鑛業視察談 横堀治三郎 一三二四

日本刀の有する硬度と比重に就て 倭國 一三三四

拔萃

キユボラ操作上二三の注意 さこ生 一三六五

電氣爐に於ける硅素滿掩合金の製造に就て

K M 生 一三七三

獨逸鐵鋼業の近況 K O 生 一三八〇

雜錄

一三八七

○製鐵事業概要○大冶現況○釜石第九熔鑛爐開業に就て○山東の鑛産物○製鐵會社は何故儲らぬか○製鐵事業危機○米國鉄力の生産状態○鐵鑛自給調査○英支の

鑛業契約○支那鐵鑛産額○英鐵復び騰貴○鐵の生産減少○米鐵輸出制限○米鐵鋼強氣配○米國鐵鋼相場○拂下鐵價改正○鐵類相場氣丈○輕鐵軌條騰貴○鐵類相場漸騰○米國鐵棒禁出○鐵材輸入困難○特許

統計

一三〇三

○北米合衆國鐵鑛の探掘量○白耳義骸炭製造量累年比較○カリフォルニア州の鑛産額○大正七年中薩哈哇州砂金探掘高○鑛産物輸出入の状況

商況

一三一九

日本鐵鋼協會記事

一三二一

内外雜誌主要題目

四三

大正八年十一月廿三日印刷
大正八年十一月廿五日發行
(定價六拾錢)

編輯 東京市京橋區月島通十丁目六番地
發行人 兼 落合 敏三 郎
印刷 東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷 東京市神田區美土代町二丁目一番地
發行所 東京市芝區烏森町四番地
日本鐵鋼協會
電話 新橋三四三九番
振替貯金口座東京一九三番